

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

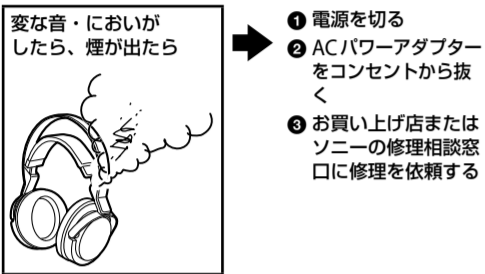
定期的に点検する

1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの修理相談窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら



- ① 電源を切る
- ② ACパワーアダプターをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーの修理相談窓口へ修理を依頼する

お買い上げ店またはソニーの修理相談窓口をお持ちになる際は、必ずヘッドホンとプロセッサーと一緒にお願いします。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
- 警告** この表示の注意事項を守らないと、大けがなど人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



- 危険** 下記の注意事項を守らないと**火災・発熱・発火・感電により死亡や大けが**の原因となります。
- 注意** 感電

指定以外の AC パワーアダプターを使わない

充電するときは、必ず指定の AC パワーアダプターを使用してください。破裂や電池の液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。



禁止

火の中に入れない



禁止

分解しない

故障や感電の原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーの修理相談窓口にご依頼ください。



分解禁止

火のそばや炎天下などで充電したり放置しない



禁止

- 危険** 下記の注意事項を守らないと**火災・発熱・発火・感電によりやけどや大けが**の原因となります。
- 注意** 感電

運転中は使用しない

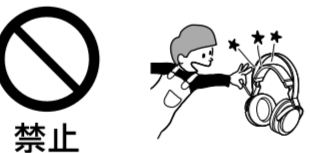
自動車の運転をしながらヘッドホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ACパワーアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーの修理相談窓口にご相談ください。



禁止

この製品を海外で使用しない

ACパワーアダプターは、日本国内専用です。交流 100V の電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。



指示

雷が鳴りだしたら、AC パワーアダプターに触れない

感電の原因となります。



接触禁止

- 注意** 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で AC パワーアダプターをさわらない

感電の原因となります。



ぬれ手禁止

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

通電中の AC パワーアダプターに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



禁止

本体や AC パワーアダプターを布団などでおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CD や DAT など、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。



禁止

かゆみなど違和感があったら使わない

使用中、肌に合わないと感じたときは使用を中止して医師またはお買い上げ店、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。



禁止

長時間使用しないときは AC パワーアダプターを抜く

長時間使用しないときは、安全のため AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際、AC パワーアダプターを抜く

AC パワーアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーの修理相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

危険 充電式電池について

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 液漏れした電池は使わない。

日本国内での充電式電池の廃棄について

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人 JBRC ホームページ <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html> を参照してください。

Li-ion

SONY

ワイヤレスステレオヘッドホン

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MDR-RF7100

©2009 Sony Corporation Printed in Malaysia



* 4 1 5 9 9 1 4 0 2 * (1)

主な特長

本システムは BD/DVD 等のマルチチャンネルソースのサラウンド音場をワイヤレスで楽しめるデジタルサラウンドヘッドホンシステム MDR-DS7100 専用の増設ヘッドホンです。BD/DVD 機器や BS / 地上デジタルチューナー、ゲーム機などと本システムのデジタルサラウンドプロセッサーを付属の光デジタル接続ケーブルで接続するだけで、大迫力のサラウンドサウンドを周囲に気兼ねすることなく楽しめます。

- 障害物を気にすることなく使用が可能なデジタル無線伝送方式ワイヤレスヘッドホン。非圧縮伝送により CD と同等の音質を実現。(到達距離最大約 30 m*)
- 他の 2.4 GHz 帯使用機器との干渉を防ぐ「リアルタイムチャンネルセレクション機能」を搭載
- ヘッドバンド調節不要のフリーアジャスト機構を採用、また、ヘッドホンをかけるだけで自動的に電源が入り、はすすと自動的に電源が切れる、オートパワーオン／オフ機能
- 長時間の使用においても疲れを感じさせない軽量ヘッドホン
- ヘッドホンを好みの位置に置いて充電できる「レイアウトフリーバッテリーチャージング」

* 到達距離は目安です。周囲環境により到達距離が変わる場合があります。

別売りのプロセッサーが必要です

本機は単体ではお使いになれません。別売りのデジタルサラウンドヘッドホンシステム MDR-DS7100 と組み合わせてお使いください。

主な仕様

一般仕様

再生周波数帯域	5 ～ 25,000 Hz
電源	内蔵リチウムイオン充電式電池
質量	約 325 g

付属品

取扱説明書（本書）(1)
スタンド (1)
保証書 (1)
その他印刷物一式

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

製品カスタマー登録のすすめ

製品をご購入いただいたお客様のサポートの充実を図るため、カスタマー登録をおすすめしております。詳しくはウェブ上の案内をご覧ください。
<http://www.sony.co.jp/avp-regi/>

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ……………0120-333-020	フリーダイヤル ……………0120-222-330
携帯電話・PHS 一部のIP電話 ……………0466-31-2511	携帯電話・PHS 一部のIP電話 ……………0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	

FAX (共通) 0120-333-399

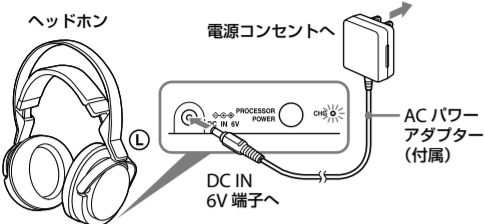


上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながします。

準備

ヘッドホンを充電する

本機はリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。充電してからお使いください。MDR-DS7100に付属のACパワーアダプターを、ヘッドホンのDC IN 6V 端子と電源コンセントに接続します。ヘッドホンのCHG ランプが赤く点灯し、充電が始まります。



約 3 時間後に充電が完了し、CHG ランプが消灯します。充電が完了したら、AC パワーアダプターをはずします。

ご注意
充電は 0℃～40℃の環境で行なってください。この範囲を超えると満充電されない場合があります。

充電時間	持続時間 ^{*1}
約 3 時間 ^{*2}	約 13 時間 ^{*3}
約 30 分 ^{*4}	約 3 時間 ^{*3}

^{*1} 1 kHz/1 mW+1 mW 出力時

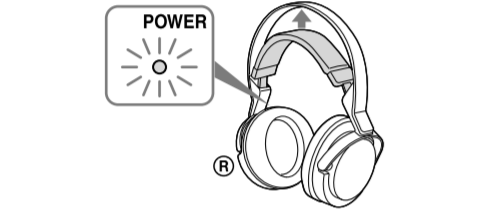
^{*2} 電池残量がない状態から、満充電するのにかかる時間

^{*3} 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

^{*4} 電池残量がない状態からの時間

充電式電池の残量を確認する

フリーアジャストバンドを引き、右ヘッドホンのPOWERランプが緑色に点灯すれば使用できます。POWERランプが点灯しないときや、ランプが暗い、音が途切れたりするときは、充電してください。



ご注意

- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなる場合があります。何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- 充電式電池の持続時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。充電式電池の交換については、お近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。

プロセッサの ID をヘッドホンに登録する

プロセッサには固有の ID が設定されています。本機を増設する場合は、プロセッサに設定されている ID をヘッドホンに登録しなければ使用することができません。必ず登録作業を行ってください。

1 プロセッサの電源を入れる。

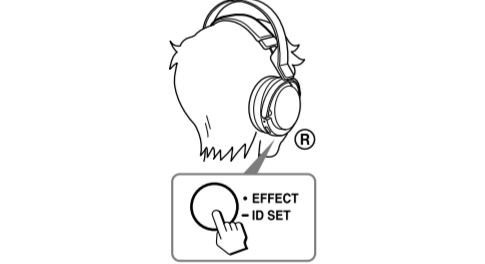
2 ヘッドホンをかける。

ヘッドホンの電源が入ります。

ご注意
内蔵の充電式電池を事前に充電するか、ヘッドホンに電源をつないでから登録作業を行ってください。

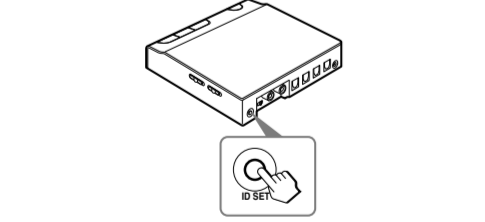
3 ヘッドホンのピーブ音が変わるまで EFFECT/ID SET ボタンを押し続ける。

ヘッドホンからのピーブ音の聞こえかたが変わり、ヘッドホンが ID 登録待機状態になります。



4 プロセッサの ID SET ボタンを押す。

プロセッサから ID が送られます。増設したヘッドホンに ID が登録されたらピーブ音が「ピー」と変化し、使用可能になります。



ご注意

- ヘッドホンの ID 登録待機状態は約 30 秒です。この間にプロセッサの ID SET ボタンを押してください。
- 複数台を同時に ID 登録作業することはできません。1 台ずつ登録してください。

使いかた

音声を聞く

MDR-DS7100 の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1 音声を聞く機器の電源を入れる。

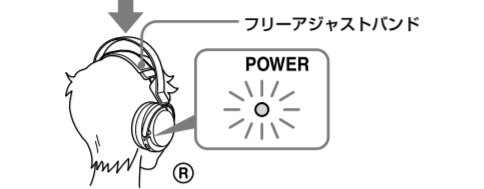
2 プロセッサの電源を入れる。

3 ヘッドホンをかける。

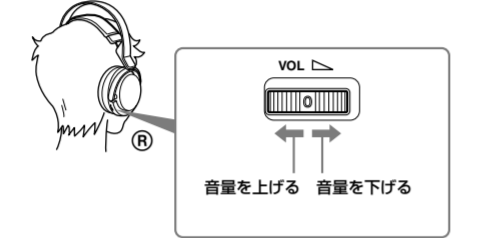
右イヤーパーッドを右耳に、左イヤーパーッドを左耳にあわせ、フリーアジャストバンドが頭の上に付くようにヘッドホンを垂直にかけます。ヘッドホンをかけると、自動的に電源が入り、右イヤーパーッドのPOWERランプが緑色に点灯します。（オートパワーオン機能）

㊦ ヒント

ヘッドホンのご使用中に充電式電池の残量がなくなったときは、「ヘッドホンを垂直に充電する」の手順で AC パワーアダプターをヘッドホンの DC IN 6V 端子と電源コンセントにつなぎ、ヘッドホンをかけてください。充電をしながらヘッドホンを使うことができます。



4 音量を調節する。



ご注意
映画の音声を聞く場合、静かなシーンで音量を上げすぎて、急な爆発シーンなどで耳を痛めないようご注意ください。

5 使い終わったら、プロセッサの電源を切る。

プロセッサのPOWERスイッチを押して、主電源を切ります。

ご注意
ヘッドホンをはずす前にプロセッサから AC パワーアダプターをはずすと、雑音が入ることがあります。

㊦ ヒント

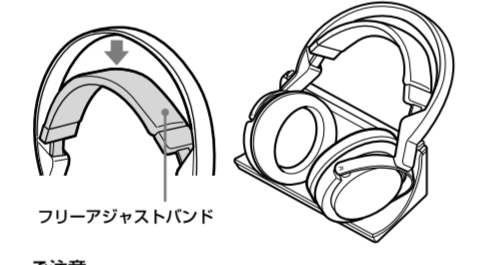
ヘッドホンのPROCESSOR POWER ボタンを押すと、プロセッサのPOWERランプの色が赤に変わり、スタンバイ状態になります。プロセッサを一時的に使わないときなどにお使いください。



スタンバイ状態からプロセッサの電源を入れるときは、ヘッドホンをかけた状態でPROCESSOR POWER ボタンを再度押すか、プロセッサのPOWERスイッチを押して一度主電源を切り、再度入れ直します。

6 ヘッドホンの電源を切る。

ヘッドホンをはずすと、自動的にヘッドホンの電源が切れます。（オートパワーオフ機能）ヘッドホンをはずしたら、スタンドの上に掛けて保管します。



ご注意
お使いにならないときは、オートパワーオン機能が働かないように、フリーアジャストバンドが下がった状態でヘッドホンを保管してください。

ヘッドホンからピーブ音が聞こえるときは

プロセッサの電源が入っていないか、電波の届く範囲から離れてヘッドホンの受信状態が悪くなると「ピッピッピッ…」というピーブ音が聞こえます。ピーブ音が聞こえたらプロセッサの電源を入れるか、プロセッサに近づいて電波の届く範囲でお使いください。プロセッサに電源が入っていて、プロセッサに近づいてもピーブ音が止まらない場合は、2.4 GHz 帯の無線周波数を使用する無線機器や電子レンジから発生する電磁波などの影響を受けている可能性が考えられます。以下の対応方法をお試しください。

- 本システムの周波数チャンネルの設定を「MANUAL」にしてお使いのときは、RF CHANNEL スイッチで影響の少ないチャンネルに切り換えるか、AUTO / MANUAL スイッチを「AUTO」に切り換える。詳しくは、MDR-DS7100 の取扱説明書をご覧ください。
- プロセッサの位置を変える。
- 2.4 GHz 帯の無線周波数を使用する無線機器や電子レンジなど、影響を与えている機器の位置を変える。

その他

本機を廃棄する

機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「使い方相談窓口」にご相談ください。（「使い方相談窓口」の連絡先は本取扱説明書内の「保証書とアフターサービス」に記載されています。

使用上のご注意

取り扱いについて

- 本機を落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- 本機を分解したり、開けたりしないでください。

設置について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高い所。
- ほこりの多い所。
- ぐらついた台の上や傾いた所。
- 振動の多い所。
- 風呂場など、湿気の多い所。

AC パワーアダプターについて

● 必ず MDR-DS7100 に付属の AC パワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をお使いください。プラグの極性など異なる製品を使うと、故障の原因になります。



- 電圧やプラグ極性が同じ AC パワーアダプターでも、電流容量その他の要因で故障の原因になります。必ず MDR-DS7100 に付属の AC パワーアダプターをご使用ください。
- AC パワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- AC パワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
 - AC パワーアダプターを本棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に設置しないでください。
 - 火災や感電の危険をさけるために、AC パワーアダプターを水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、AC パワーアダプターの上に花瓶などの水の入ったものを置かないでください。
- 長い間使わないときは、AC パワーアダプターをコンセントから抜いてください。コンセントから抜くときは、コードを引っばらずに必ず AC パワーアダプター本体をつかんで抜いてください。

ヘッドホンについて

まわりの人のことを考えて

ヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎで、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本機は 2.4 GHz 帯の 2,400 GHz から 2,4835 GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項 本機の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。	
1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。	
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。	
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本取扱説明書をご覧ください。	
<div><div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div></div> <div>2.4 D S 4</div> <div>この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 変調方式を採用し、干渉距離は 40 m です。</div>	

イヤーパーッドについて

イヤーパーッドは消耗品です。日常の使用や長期の保存により劣化しますので、破損したら交換してください。イヤーパーッドを交換する場合は、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

音が出ない

- プロセッサと AV 機器の接続を確認する。
- デジタル機器の光デジタル出力端子とプロセッサの DIGITAL OUT 端子をつないでいる。
 - プロセッサの DIGITAL IN 端子につなぎ直す。
- INPUT ボタンで「DIGITAL 1（または 2）」を選択している場合は、つないだデジタル機器の光デジタル出力設定が「OFF」や「切」になっていないか確認する。
- プロセッサにつないだ AV 機器の電源を入れ、再生を始める。
- プロセッサの電源を入れる。
- INPUT ボタンで、音声を聞きたい機器を正しく選んでいるか確認する。
- プロセッサの LINE IN (L/R) 端子に AV 機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンを頭の上から垂直にかけ直す。
- ヘッドホンの音量を上げる。
- ヘッドホンの充電式電池が消耗しているので充電をする。充電をしてもヘッドホンの POWER ランプが点灯しない場合は、お近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。
- DTS に対応していない BD/DVD 機器で DTS 音声トラックを再生している。
 - DTS に対応した BD/DVD 機器を使用する。または Dolby Digital や PCM 音声トラックを選択する。
- BD/DVD 機器（ゲーム機を含む）の DTS デジタル出力設定が「OFF」や「切」の状態で、DTS 音声で収録された DVD を再生している。
 - お使いの BD/DVD 機器の取扱説明書をご覧になり、DTS デジタル出力設定を「ON」や「入」に切り換えてください。
- BD/DVD 機器（ゲーム機を含む）を本機の LINE IN (L/R) 端子に接続している状態で、DTS 音声で収録された BD/DVD を再生している。
 - DIGITAL IN 端子に接続してください。（BD/DVD 機器を LINE IN (L/R) 端子に接続しているときは、音声が出力されない場合があります。）
- 増設したヘッドホンにプロセッサの ID が設定されていない。
 - ヘッドホンにプロセッサの ID を登録する。
- プロセッサに接続している機器の出力信号のサンプリング周波数を 48 kHz/44.1 kHz に設定する。

音がひずむ、とぎれとぎれになる（同時にノイズが出る場合もある）

- ヘッドホンの充電式電池が消耗しているので充電をする。充電をしてもヘッドホンの POWER ランプが点灯しない場合は、お近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。
- プロセッサとヘッドホンの周辺に 2.4 GHz 帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認する。
- プロセッサの位置を変える。
- INPUT ボタンで「ANALOG」を選択したときに症状が出る場合は、プロセッサの ATT スイッチを「-8dB」に切り換える。
- プロセッサの LINE IN (L/R) 端子に AV 機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を下げる。
- 本システムの周波数チャンネルの設定を「AUTO」に設定してお使いのときは、自動的にチャンネルが切り替わったときに音が途切れる場合がありますが、故障ではありません。
- プロセッサに接続している機器の出力信号のサンプリング周波数を 48 kHz/44.1 kHz に設定する。

音が小さい

- INPUT ボタンで「ANALOG」を選択したときに症状が出る場合は、プロセッサの ATT スイッチを「0dB」に切り換える。
- プロセッサの LINE IN (L/R) 端子に AV 機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの音量を上げる。

雑音が多い

- プロセッサとヘッドホンの周辺に 2.4 GHz 帯の周波数を使用する無線や電子レンジなどの機器がないか確認する。
- プロセッサの LINE IN (L/R) 端子に AV 機器のヘッドホン端子をつないだときは、つないだ機器の音量を上げる。
- ヘッドホンの充電式電池が消耗しているので充電をする。充電をしてもヘッドホンの POWER ランプが点灯しない場合は、お近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。

充電できない

- ヘッドホンと AC パワーアダプター、電源コンセントの接続を確認する。
- 充電式電池に劣化などの異常がある。
 - お買い上げ店またはお近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。

CHG ランプが点滅する

- 充電式電池に劣化などの異常がある。
 - お買い上げ店またはお近くのソニーの修理相談窓口にご相談ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口、またはお買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではワイヤレスステレオヘッドホンの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 6 年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。